

18. 心不全ケア科

心不全ケア科部長 井上修二郎

高齢化率の高い筑豊地域において、医学的・社会的問題を複数抱え併存疾患の多い高齢心不全患者がますます増加しています。急性期病院として疾患急性期の管理を行った後は、今後の再入院予防のための治療の最適化、教育、環境調整、アドバンストケアプランニング(ACP)など多面的なアプローチが必要になります。心不全ケア科は、慢性心不全認定看護師を筆頭に多職種よりなるチームによってこれらの問題に取り組み、総合診療科や連携・緩和ケア科と連携し心不全患者診療の仕組み作りを進めます。2023年には院内の心不全連携および院外地域連携への課題を洗い出し、回復期・慢性期へ繋げる取り組みを行っていきます。